

平成 26 年度 事務事業評価(議会)
(平成 25 年度決算)

分 科 会 評 価 結 果

分 科 会 名	文教分科会				整 理 番 号	文教－１		
事 務 事 業 名	特 別 支 援 等 教 育 活 動 サ ポ ー ト 事 業							
評 価 区 分 (事務事業の方向性)	①	拡 充	２	継 続	３	終期設定し終了	４	休止・廃止

〈上記評価区分とした理由、改善内容、提案事項等〉

本事業は、特別な教育的支援を必要とする幼児、児童、生徒が増えている中で、学校（園）の運営上、特に支援が必要と認められる場合、学校（園）からの申請に基づき、補助教員を配置し、学校教育の一層の活性化と一人一人に行き届いた教育を実現することを目的としている。

現在、配置が申請されたものの未配置となっている学校（園）や複数の補助教員の配置を求める学校（園）もあることから、今後、補助教員の増員により教育的支援をさらに充実させるとともに、補助教員については、シルバー人材等を含め経験者の活用も検討すべきである。

さらに、支援を要する子供たちを学校、保護者だけでなく児童生徒全員でともに支え合う環境や体制が必要であると考えられる。

このようなことから、本事業を拡充とした。

なお、国、県に対して教育的支援の必要性を訴え、支援のための措置を強く要望すべきである。